PMS-2081(14042)

施工説明書

オートマージュ自動水栓（グースネックタイプ）AC100V

AM-211V1型
AM-211CV1型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100％発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

1.施工の前に

安全上のご注意

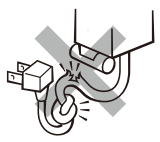
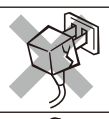
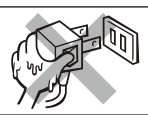
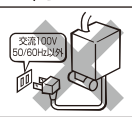
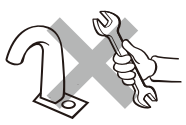
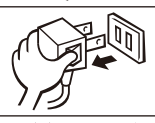
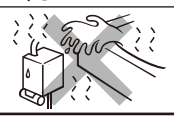
●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

警 告..「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注 意..「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます」
⚠…「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

…「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
…「分解してはいけません！」
…「指示通りにしなさい！」
…「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

⚠ 警 告

(禁止)	**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしないでください。** ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因になります。	
(禁止)	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	
(禁止)	**水につけたり、水をかけないでください。** ※発火、ショート、感電、故障の恐れがあります。	
(禁止)	**電源プラグを濡れた手で触れないでください。** ※感電の原因となります。	
(禁止)	**交流100V(50/60Hz)以外では使用しないでください。** ※発火、ショート、感電の原因となります。	
(分解禁止)	**修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。** ※発火、感電したり、異常動作してケガをすることがあります。	
(指示)	**電源プラグについたホコリは、取り除いてください。** ※電源プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。	
(指示)	**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	
(場所)	**バスルームなどの水がかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	

⚠ 注 意

(禁止)	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
(禁止)	**水道水および飲料可能な井戸水以外は使用しないでください。** ※商品の内部腐食により、発火、ショート、感電の原因となります。	
(禁止)	**トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウェットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。** ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	

本製品の仕様と条件

	単水栓
電源 主電源	AC100V（50/60Hz）
消費電力	待機時0.2W以下　使用時1.3W以下
使用圧力範囲	0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水 ※1
使用環境温度範囲	0～40℃
使用環境湿度範囲	90%RH以下
適正流量範囲	3～5L/分（4L/分定流量弁内蔵）
感知方法	距離測定式赤外線センサー
感知距離 (グレーカード：80mm角)	約130mm
感知エリア幅	φ10mm以下
給水接続	R1/2
取付条件	水栓取付穴径φ25～38mm(ポップアップなし)、φ30～38mm(ポップアップあり) カウンター厚5～30mm

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

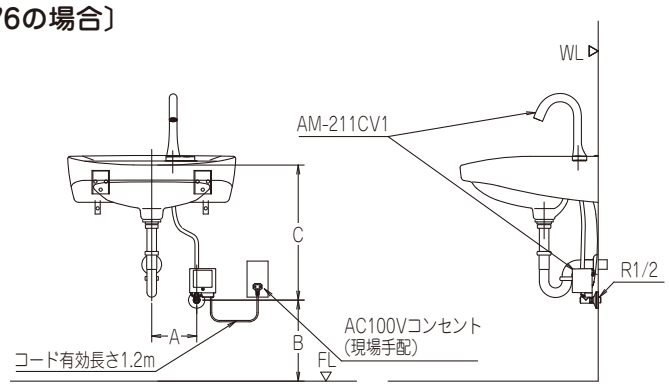
施工寸法

陶器によって取付寸法が異なります。
下表を参照のうえ、取り付けてください。

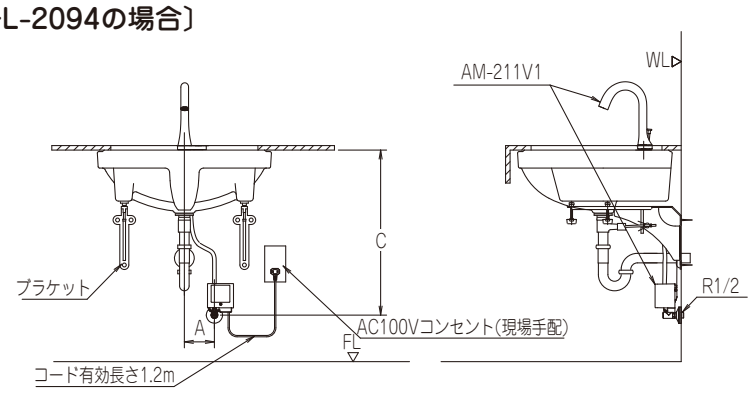
陶器の種類	ブラケット	A寸法	B寸法	C寸法
手洗器	なし	150	350	450
洗面器	なし	150	300	450
	あり	100	－	550

施工例

〔AM-211CV1+L-176の場合〕



〔AM-211V1+L-2094の場合〕



施工前のご注意

取付けに必要な工具

●取付けにはプラスドライバー、モンキーレンチ、専用工具「KG-23」もしくはソケットレンチ（呼び13）プライヤー、マイナスドライバーが必要です。

取付可能洗面器

●水栓を取り付ける陶器が取付可能洗面器であることを確認してください。
（取付可能洗面器一覧表参照）
※取付可能洗面器一覧表に記載されていない洗面器への取付けは、誤作動することがありますので取付けできません。

株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル **TEL 0570-017-173**

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日 9:00～17:00
(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

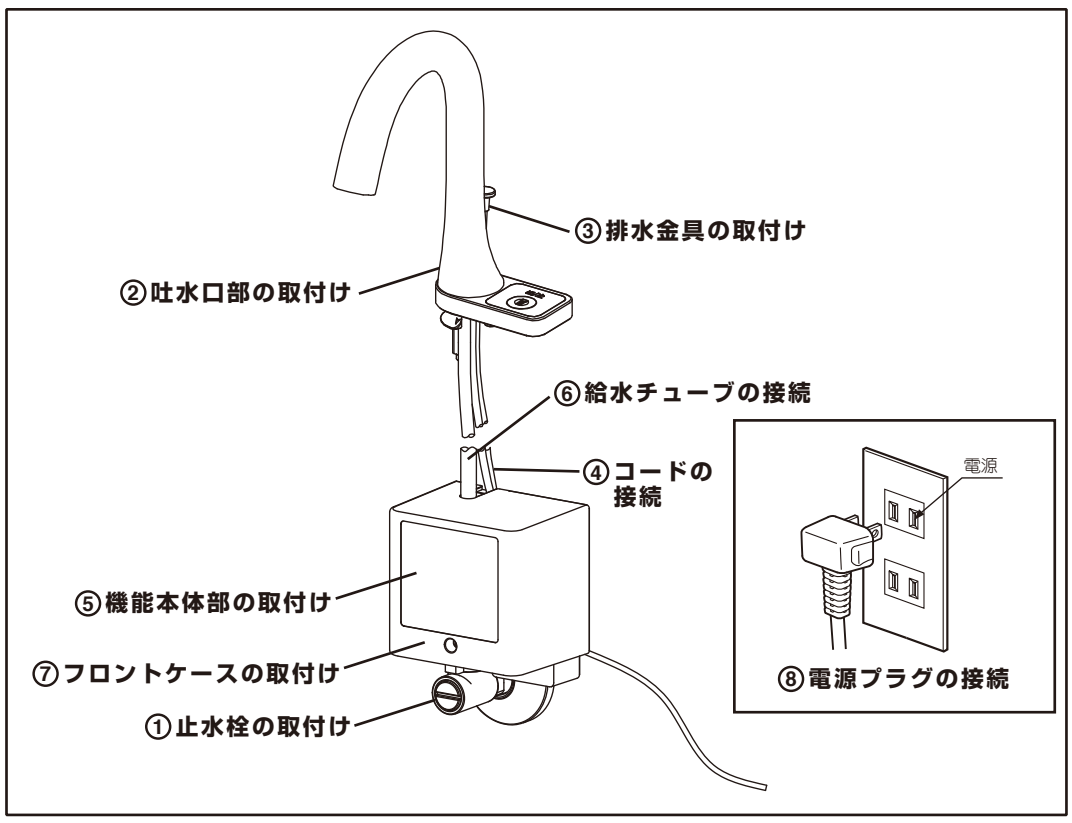
〔取付可能洗面器一覧表〕

自動水栓製品品番	陶器 分類	陶器 品番	陶器 取付穴	自動水栓製品品番	陶器 分類	陶器 品番	陶器 取付穴
AM-211CV1	手洗器	L-14	AN,N	AM-211V1	洗面器	L-176U	FCR,FCRS
		L-62	ANC,AN,N,FC			L-275	FCR,FCRS
	洗面器	L-143	AG,G			L-365	FC,FCS
		L-176U	AG,G,AN,N,AP,P			L-536	FC,FCRS
		L-275	AN,N			L-546	FC,FCRS
		L-275-H	AN,N			L-555	FC,FCRS
		L-365	APR,APRS,FCPR,FCPRS			L-2094	FC,FCS,CL
		L-531	ANC,N			L-2149	FC,FCS,CL
		L-536	ANC,N			L-2150	FC,FCS,CL
		L-546	ANC,N			L-2160	FC,FCS,CL
		L-555	ANC,N			L-2250	—
		L-2094	AG,G,ANC,AN,N,AP,P			L-2260	—
		L-2149	AG,G,ANC,AN,N,AP,P,APR,APRS,FCPR,FCPRS			L-2291	—
		L-2150	AG,G,ANC,AN,N,AP,P			L-2292	—
		L-2160	ANC			L-2295	—
		L-2250	—			L-2394	FC,CL
		L-2260	—			L-2584	FC
		L-2291	—			L-2594	FC,CL
		L-2292	—			L-2848	FC,FCS
		L-2295	—	※詳細は別途図面等をご確認ください。			
		L-2394	ANC				
		L-2384	ANC				
		L-2594	ANC				
		L-2848	ANC,FC,FCS				

その他の注意点

- ●給水は必ず水道水および飲料可能な井戸水としてください。中水及び異物を多く含む水は使用できません。
- ●水栓を取り付ける前に必ず**配管中の異物を完全に洗い流し**、空気を完全に抜いてください。
- ●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように注意してください。
- ●機能本体部は必ず正しい向きに取り付けてください。
  ※横にしたり、逆さに取り付けますと誤作動の原因となります。
- ●電気製品ですので機能本体部に水をかけないようにご注意ください。
- ●センサーの表面を傷つけないように十分ご注意ください。
- ●水栓の機能を十分に発揮させるため、必要な場合定流量弁を取り外し、流量調節栓を絞って、流量 3～5L/ 分程度にしてください。(「流量の調節」の項参照)
- ●インバーター照明により誤作動する場合があります。
- ●直射日光が当たらないところに設置してください。
- ●万が一の危険防止の為、電源の一次側に 1 ヶ所漏電遮断器を設置してください。
- ●電源線はφ1.6mm 又は 2.0mm 以上のものをご使用ください。(現場手配)
- ●電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- ●水道工事と電気工事は十分工程を打ち合わせのうえ行ってください。
- ●電源コードの長さは 1.2m です。コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。

施工手順



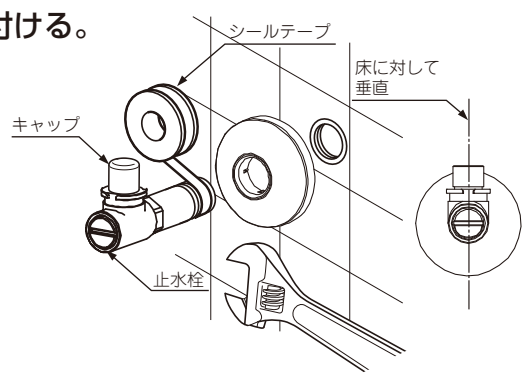
2. 施工方法

① 止水栓の取付け

1. 配管位置を確認し、止水栓を取り付ける。

注 意

キャップは機能本体部を接続するまで取り外さないでください。
※キャップ内のOリングが傷つき、漏水の原因になります。

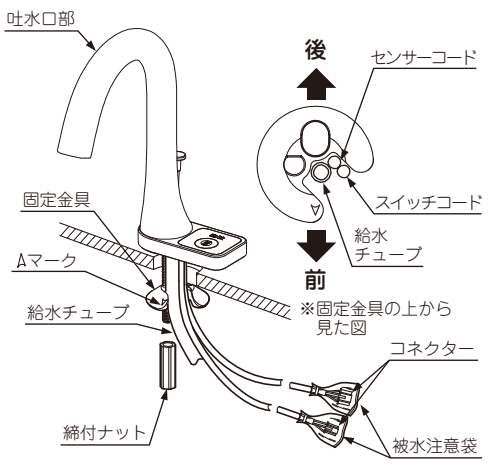


② 吐水口部の取付け

1. 吐水口部に付いている固定金具、締付ナットを取り外し、水栓取付穴に挿入する。水栓取付穴の下から給水チューブ、コード類の位置を確認し、固定金具、締付ナットを取り付け仮固定する。

注 意

- **●給水チューブ・コード類を必ず指定位置に通してください。**
  ※ポップアップ棒が通らない、あるいは重くなる恐れがあります。
- **●コネクターの被水注意袋は、機能本体部に接続するまで取り外さないでください。**
  ※コネクターが傷つき、故障の原因になります。



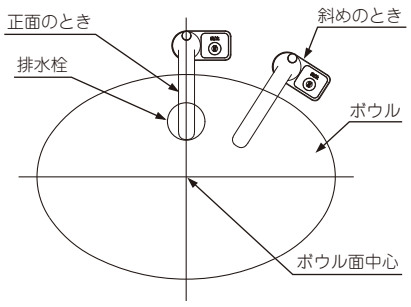
ポイント

矢印 A が正面を向くように取り付ける。

2. 吐水口先端をボウルの中心に向ける。

注 意

- **●取付方向を適切な位置にしてください。**
- **●取付可能洗面器以外は取り付けないでください**
  ※ボウル面を感知して誤作動する恐れがあります。



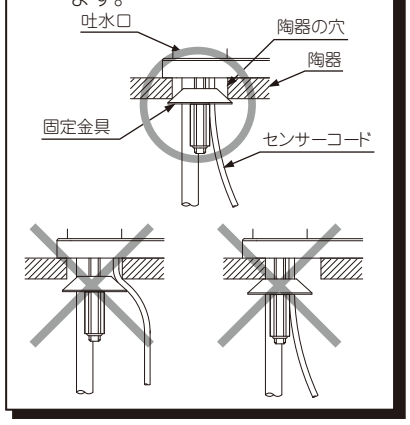
3. 水栓取付穴にはまるまで固定金具を押し込んでから専用工具「KG-23」もしくは、市販のソケットレンチ（呼び13）を使って締付ナットを締め付ける。

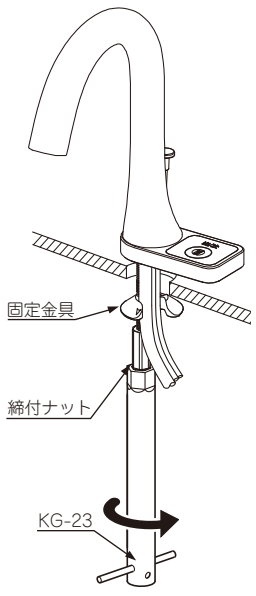
確 認

締付後、吐水口部に浮き、グラつきがないこと。

注 意

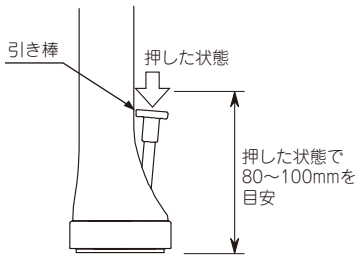
コードを固定金具と陶器の間にはさまないでください。
※コードが断線する恐れがあります。





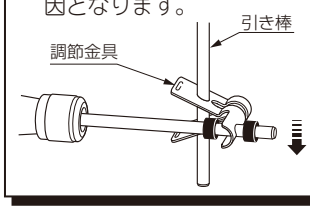
③ 排水金具の取付け

排水金具に同梱の施工説明書に従い、排水金具と引き棒を接続する。この時、引き棒は下図のように取り付ける。



注 意

調節金具の向きを下図のようにして取り付けてください。
※逆向きに取り付けると引き棒の操作が重くなる原因となります。

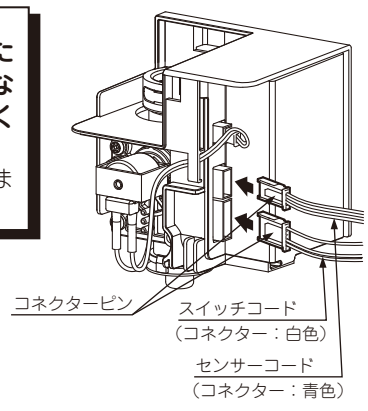


④ コードの接続

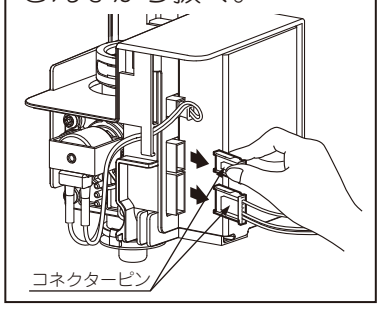
1. センサーコード（コネクター：青）とスイッチコード（コネクター：白）のコネクターピンを手前に向けて機能本体部のコネクターに差し込む。

注 意

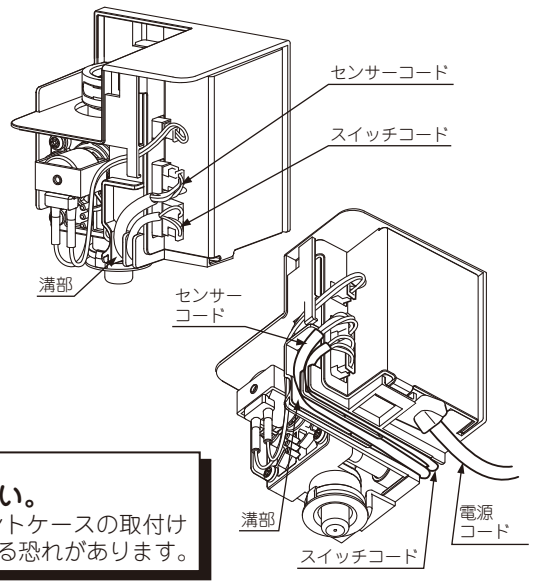
濡れた手で触れたり、水がかからないように行ってください。
※故障の原因になります。



［取り外す場合］
コネクターピンを指で押さえながら抜く。

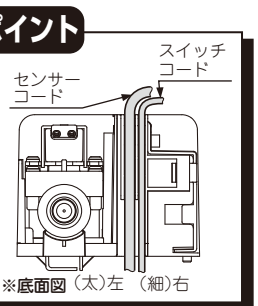


2. センサーコードとスイッチコードを溝部に沿ってはめ込む。



ポイント

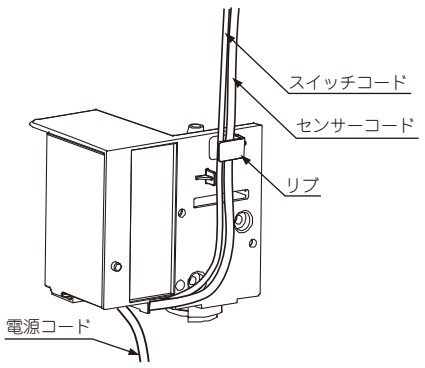
センサーコード(太)、スイッチコード(細)を図のようにはめ込む。



注 意

裏側までしっかりはめ込んでください。
※コードが溝部にはまっていないとフロントケースの取付け時にコードを挟み込み、コードが断線する恐れがあります。

3. センサーコードとスイッチコードを機能本体部の裏のリブに収める。

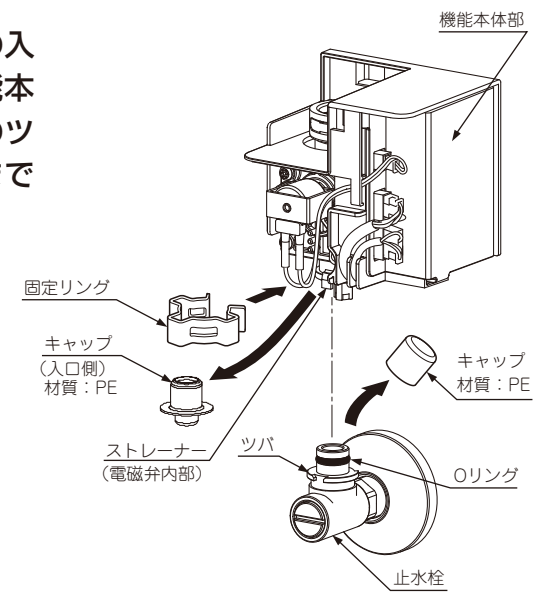


注 意

電源コードはリブに収めないでください。
※故障の原因になります。

⑤ 機能本体部の取付け

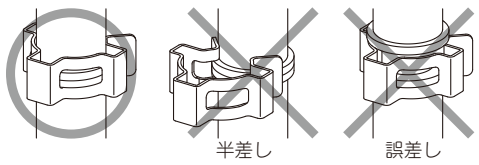
1. 止水栓のキャップと機能本体部の入口側のキャップを取り外し、機能本体部が正面を向くように止水栓のツバと機能本体部のツバが接するまで差し込む。



注 意

●Oリングを傷つけたり、ゴミかみしないように行ってください。
※漏水の原因になります。
●誤ってストレーナーを外さないでください。
※ゴミが電磁弁内に入り、故障の原因になります。

2. 付属の固定リングを接続部（ツバ部）にはめ込む。



注 意

確実にはめ込んでください。
※しっかりはめ込んでいないと漏水や固定リングでケガをする恐れがあります。

確 認

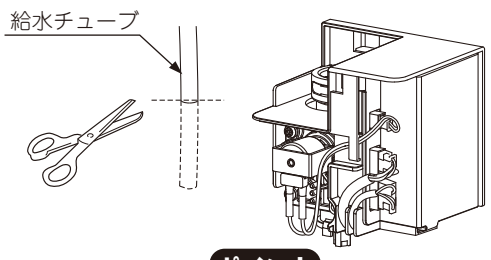
かるく機能本体部を上げても、固定リングが外れないこと。

⑥ 給水チューブの接続

1. 給水チューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、切断する。

注 意

●給水チューブの取付けには必ず順序を守ってください。
※漏水の原因になります。
●必ず給水チューブの必要な長さを確認してください。
※給水チューブが長すぎると折れ曲がり流量が出なくなる恐れがあります。



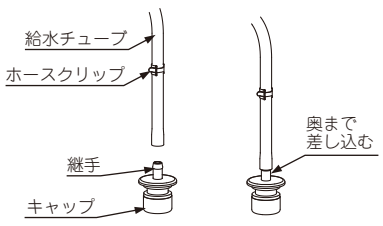
ポイント

給水チューブは水平に切断する。

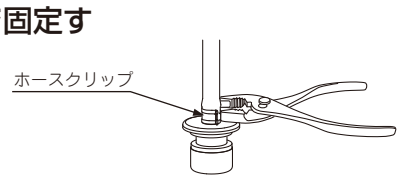
2. 給水チューブを継手の奥まで差し込む。

注 意

給水チューブを継手から取り外す場合、カッターは使用しないでください。
※継手を傷つけ、漏水の原因になります。

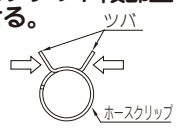


3. プライヤー等を使用し、ホースクリップで固定する。

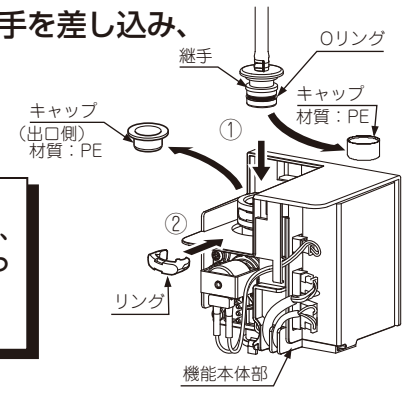


ポイント

プライヤー等でホースクリップのツバ部分を挟み、ホースソケット段部上へ移動させる。



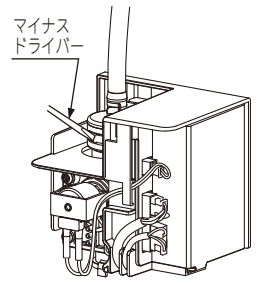
4. 機能本体部の出口側のキャップ、継手のキャップ、リングをとり外し、機能本体部の出口に継手を差し込み、リングで固定する。



注 意

Oリングに傷をつけたり、ゴミかみしないように行ってください。
※漏水の原因になります。

[取り外す場合]
継手を外す時は、小型のマイナスドライバーでリングを抜き取る。



⑦ フロントケースの取付け

フロントケースをはめ込み、プラスドライバーで付属の取付ネジを固定する。

注 意

コードをフロントケースで挟み込まないでください。
※コードが断線する恐れがあります。

⑧ 電源プラグの接続

電源プラグをコンセントに接続する。

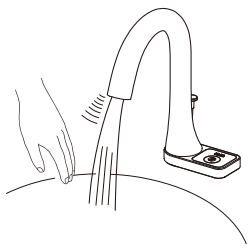
3.施工後の調節

1 通水確認

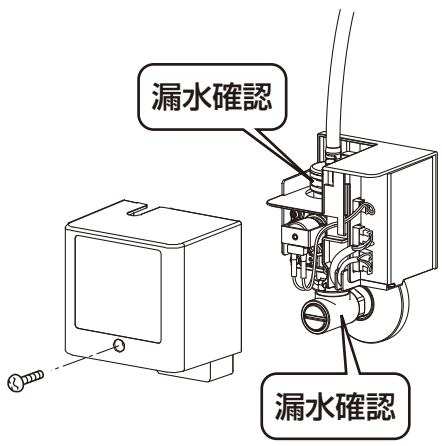
通水確認を以下の要領で行ってください。

1. 元栓を開く。

2. 手を差し出し、センサーを感知させ、水がでることを確認する。



3. 水を止め、接続部から漏水がないことを確認する。



2 電気温水器タンクへの給水（電気温水器との組み合わせる場合）

1. 手動スイッチを6秒間以上長押しする。
空気を巻き込みながら、吐水口から断続的に水がでる。

2. タンクが満水になると水の出方が安定するので、もう一度手動スイッチを押して水を止める。

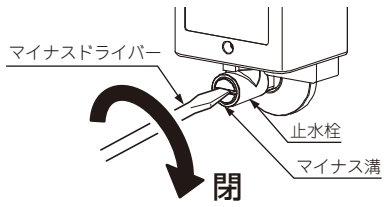
ポイント

6秒間以上長押しした場合は約10分間連続して水がでる。
もう一度押すと止まる。

3 ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーの掃除を以下の要領で行ってください。

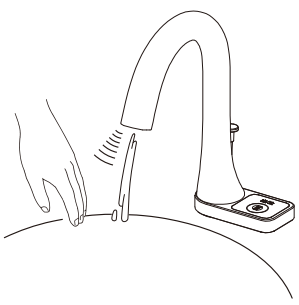
1. 止水栓を閉じる。



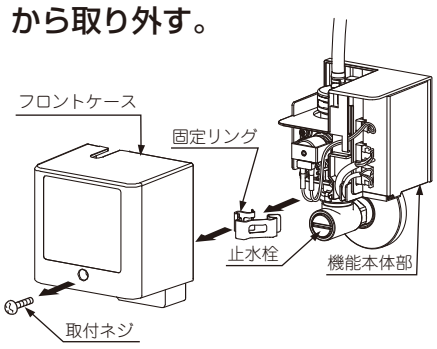
注意

止水栓のマイナス溝は樹脂製のため、マイナス溝にあったマイナスドライバーを使用してください。
※マイナス溝に傷をつける恐れがあります。

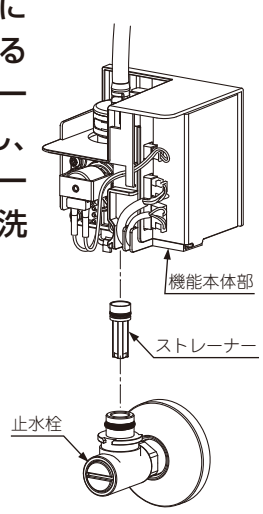
2. 手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをする。



3. フロントケース、固定リングを取り外し、機能本体部を止水栓から取り外す。



4. 電磁弁の中に収まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等を洗い流す。

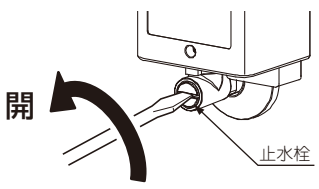


4 流量の調節

1. マイナスドライバーで止水栓を回し全開にする。

ポイント

- 節水のため定流量弁を装着しているので、一定以上の流量（5.0L/分以上）は出ない。
- 流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約12～20秒。



2.

流量が十分な場合
➡ このままご使用可能

流量が少ない場合
➡「5 流量が不足する場合の調節」へ進む

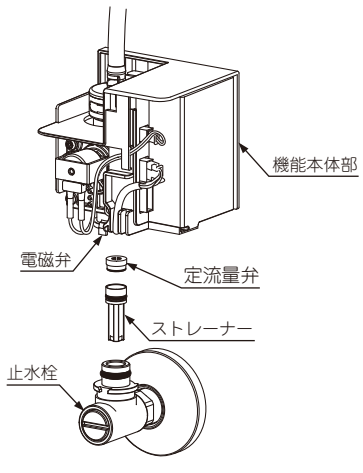
5 流量が不足する場合の調節

低圧の現場や電気温水器との組み合わせで流量が不足する場合は定流量弁を取り外して、流量を調節する必要があります。

1. 止水栓を閉めた後、電磁弁の中に収まっている定流量弁を取り外す。

注意

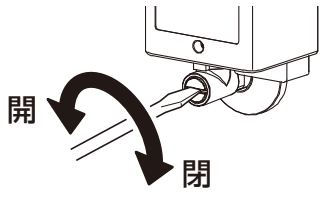
定流量弁を取り外した後、必ずストレーナは電磁弁に取り付けてください。
※ストレーナーを取り外してしまうとゴミ等が電磁弁内につまり故障の原因になります。



2. マイナスドライバーで止水栓を回し、流量を調節する。

ポイント

流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約12～20秒。



4.引渡し前の確認

お客さまに引き渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。
※点検箇所は、下図を参照してください。

現　象	点　検　内　容	点検箇所	処　置
吐水しない	止水栓は開いてるか？	A	止水栓を開く。
	コンセントに電気がきていない、または停電中ではないか？	—	ブレーカー確認する。停電中の場合回復するまで待つ。
	電源プラグがコンセントに差し込まれているか？	B	電源プラグをコンセントに差し込む。
	ストレーナーや泡沫口にゴミ詰まりはないか？	E, F	ゴミ等を水で洗い流す。
	センサーの表面が汚れてないか？	C	汚れをふき取る。※1
	センサーコード、スイッチコードがコネクターから外れてないか？	D	センサーコード、スイッチコードをコネクターに接続する。
	断水中ではないか？	—	回復するまで待つ。
流量が少ない	圧力は十分か？	—	「本製品の仕様と条件」の項を参照する。
	止水栓を全開にしているか？	A	止水栓を全開にする。
	ストレーナーや泡沫口にゴミ詰まりはないか？	E, F	ゴミ等を水で洗い流す。
	配管途中に大きな抵抗はないか？	—	抵抗となる障害物を取り除く。
	低圧時、定流量弁を外さず使用していないか？	G	「流量が不足する場合の調節」の項を参照する。
	給水チューブが折れ曲がっていないか？	H	折れ曲がらないよう長さを調整する。
流量が多い	定流量弁が取り外されていないか？	G	定流量弁を取り付ける。
	低圧時、定流量弁を取り外した場合に流量調節を行ったか？	A	「流量が不足する場合の調節」の項を参照する。
止水しない（勝手に水が出る）	センサーの感知エリア内に障害物がないか？	—	障害物を取り除く。
	センサーの表面が汚れていないか？	C	汚れをふき取る。※1
	取付可能陶器以外を組み合わせてないか？	—	「取付可能陶器一覧表」の項を参照する。
水栓本体がガタつく	締付ナットにゆるみはないか？	I	締付ナットをしっかり締める。
吐水状態が乱れる	泡沫口にゴミ詰まりはないか？	E	ゴミ等を水で洗い流す。
吐水口接続部から水漏れする	泡沫口がしっかり締まっているか？	E	泡沫口をしっかり締める。

※1：センサー表面の汚れをふき取る場合、キズをつけないようにしてください。